

科目名	感染予防・救急法【理学・作業】					開講 キャンパス	神 埼
担当者	井 上 俊 孝						
開講年次	3	開講期	前期	単位数	2	必修・選択	必修
授業の概要 及びねらい	講義・ビデオ・実習を組み合わせを行い、臨床の現場に必要な知識を得る。						
授業の 到達目標	リハビリテーションや運動指導等を行う際に必要な応急処置や感染防御の知識として必要な以下のことを習得する。 1. BLSコースを基本とした救命処置が行える。 2. 外傷などに対する応急手当が行える。 3. 救急医療や感染対策の体制と現状に対する知識を知り、医療や介護の現場で職種に応じた対処ができる。						
学習方法	講義・実習・その他						
テキスト及び参考書等	開講時に指定する。						
評価基準・方法	到達目標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験							
小テスト等							
宿題・授業外レポート	○						25
授業態度			○				15
受講者の発表		○	○				10
授業への参加度			○				10
その他	○	○	◎	○			40
	BLS実習（必須参加）						
合 計							100
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
第 1 週	救急蘇生法総論						
第 2 週	症状・疾患別の対応 1						
第 3 週	症状・疾患別の対応 2						
第 4 週	救急蘇生と感染						
第 5 週	救急事態の発生予防と対応のシステム化						
第 6 週	感染症総論						
第 7 週	感染症各論 1						
第 8 週	感染症各論 2						
第 9 週	感染症と医療現場						
第 10 週	主な急性の運動障害と処置法 1						
第 11 週	主な急性の運動障害と処置法 2						
第 12 週	主な急性の運動障害と処置法 3						
第 13 週	BLS実習（準備講習）						
第 14 週	BLS実習（学科別／BLS）						
第 15 週	BLS実習（学科別／BLS）						
第 16 週							
備考	授業外学習（事前学習・事後学習）をおこなうこと						